

SmartOpsX オペレーション業務支援アプリ



ライトユースSaaS

施設情報をタブレットに集約 現場の業務をDXで効率化

Ops-FC 施設台帳システム



施設
情報

Ops-GIS インフラ維持管理システム



Ops-FI 現場点検支援システム



施設情報・管路情報との連携で維持管理業務のDX化を支援

特長

- **業務のデジタル化と効率化**
紙ベースの作業や手書き記録を廃止し、タブレット端末でリアルタイムに情報を入力・共有
- **現場での即時情報アクセス**
作業員が現場に必要なマニュアル、図面、作業指示などを即座に確認可能
- **データの一元管理と可視化**
タブレットで収集したデータをクラウドに連携し、管理者がリアルタイムで状況を把握
- **ペーパーレス化によるコスト削減**
紙に関するコストを削減
- **日常のコミュニケーション円滑化**
現場での気づきやちょっとした相談事項、確認事項を気軽にやり取り可能
- **災害対応力の強化**
現地の状況を即時に共有することで、中央での判断のスピードと精度が向上

SmartOpsXは、DXによる現場業務の高度化と、 タブレット端末による情報管理を効率化を実現します。

導入効果

1

業務効率の大幅向上

紙ベースの作業や手書き記録を廃止し、タブレット端末でリアルタイムに情報を入力・共有できます。

導入効果

2

現場情報の即時共有

気づきや相談をすぐ共有でき、必要な資料もその場で確認可能です。

導入効果

3

情報管理の強化

タブレットで収集したデータをクラウドに連携し、リアルタイムで状況を把握・可視化が可能です。

サブレイヤー機能

施設や機器の設置場所を地図や平面図に視覚的に配置することで、現場での位置確認が容易になります。関連するドキュメントを事前に登録しておくことで、現場でも必要な情報をすぐに閲覧可能です。



地図や平面図に
施設の設置場所を配置

AR管路点検機能

災害対応時に被災前の状態確認をしたり、施設の点検作業の支援が可能となります。



管路施設や点検履歴など
3D表示して現地作業を支援

AR施設点検機能

簡易3Dビューアー機能

現地情報共有機能

位置情報に紐づけたARタグで機器を読み込み、点検作業やマニュアルの参照、過去の点検履歴の参照が可能です。また場内施設のVRモデルも参照できます。

現場の状況を撮影した写真や作業情報を記録して、情報を共有することが可能です。

簡易3D表示



タブレット端末上に
機器の情報や
作業メニューを表示



現場の“気づき”をすぐに情報連携

主なシステム機能

Ops-FC

施設台帳機能	工事台帳機能
施設情報機能	工事情報管理機能
設備台帳機能	共通機能
設備情報機能	サブレイヤー機能*
維持管理機能	簡易3Dビュー機能*
維持管理機能	

Ops-GIS

基本機能	現場支援機能
地図操作	ルート検索
施設検索	関連図書管理
施設属性管理	メモ登録
図面印刷	AR管路点検機能*
3Dビュー*	

Ops-FI

*はオプション機能

入力機能	共通機能
数値、選択入力	タイムライン
フリーハンド入力	オフライン一時保存
写真、動画登録	位置情報記録機能*
帳票管理機能	AR施設点検機能*
帳票登録	現地情報共有機能*

お問い合わせはこちら

NJS オペレーションズ本部 ソフトウェア部

TEL:03-6324-4357 Mail:technical@njs.co.jp